

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課 ☎(0897)65-1301

今回のESD通信では、国連で定められた達成すべき17の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）がどのように学校教育における教科と関連があるのかを紹介していきます。また、後半では、SDGs達成に向けた新居浜市PTA連合会の取組を紹介します。

社会



第56回愛媛県社会科夏期研究会（8月2日）：西条市中央公民館



社会科では研究主題「持続可能な社会を生きるために～自分ごととして「問い・考え・表現する」社会科学習～〈第3年次〉」を立てて研究を行っています。8月2日に西条市中央公民館において開催された第56回愛媛県社会科夏期研究会で新居浜市立別子中学校の池田光希教諭が、『歴史的分野「日本の産業革命～別子銅山と足尾銅山～」の実践を通して』という主題で研究発表しました。

県内各地から、社会科教員を中心に50名を超える参加者が集い、社会科の授業による持続可能な社会づくりに向けた人材の育成について熱心な協議が行われました。

関連付けられる
SDGs



理科

真谷川生態調査及び船木地区の自然環境保護活動（8月22日）

市民の森・真谷川周辺



夏休み中、船木中学校2年生有志8名が真谷川の生態調査をとべ動物園、住鋤テクノリサーチ、愛媛大学生のご指導、ご協力のもと行いました。この活動を通して、現在の地域の自然環境を知り、その保全とより良い環境づくりについて考えることができました。

この日に確認できた底生動物（水中や水辺に住んでいる貝やエビ、カニ、水生昆虫のこと）は15種で、うち11種が水生昆虫でした。8月4日に行った事前調査時に比べて、

明らかに水生昆虫は少なくなっていました。昨今の猛暑が関係している可能性があるそうです。出現種や水質判定の結果から、現在のところの河川環境は良好と判断することはできましたが、昨今の地震や豪雨災害、猛暑などの気候変動や人為的な環境汚染が環境に及ぼす影響は絶大です。

今回参加した生徒が今回の調査結果を他の生徒や地域に発信することで、自分たちが住む地域の自然環境への関心が高まり、主体的な学びへのきっかけになることを期待します。

関連付けられる
SDGs





新居浜・モザンビークESD交流会（9月20日）惣開公民館



2020年の東京オリンピック事前合宿候補地視察のために来日された、モザンビークオリンピック委員会のアニバル・マナベ会長、バリゲ・タウアボ副会長、ペナルバ・セザール事務局長をお招きした交流活動が行われました。まず、新居浜グローバルネットワークの小松さんより「モザンビークESDツアー」の報告があり、その後、ESDに関連した内容で、惣開小学校の井上校長先生と5年生4名による取組発表、新居浜市教育委員会の取組発表、泉川中学校3年生2名による取組発表がありました。英語やポルトガル語を交えながらの発表にモザンビークの3名の方々も感心していました。ESD推進やSDGs達成が世界共通の関心事であることを理解したり、コミュニケーションをとるために英語学習の必要性を感じたりすることができた交流会でした。



市P連啓発講座「SDGs 研修」(8月29日)：新居浜市市民文化センター

新居浜市PTA連合会、地域・学校連携部会によるSDGsに関する研修会が新居浜市市民文化センター4階大会議室で行われました。参加者は、市P連学校・地域連携部員、市P連広報部員、各単位PTA会員、教職員で約100名の方々が集まりました。まず初めに、新居浜市教育委員会の榎木奨悟次長兼教育力向上戦略監の講義からSDGsについての理解を深めたうえで、これまでのPTA活動や家庭での活動を振り返りました。行ってきた様々な活動をSDGsと結び付けて考えることができました。その後のワークショップでは、他の人と意見やアイデアを交換しながら、それぞれの学校PTA全体で共有していきたいことをまとめていきました。まとめられた考えは、新居浜市PTA連合会が発行する広報誌の中の記事として掲載し、市内全域に広めていく予定です。

新居浜から世界へ、持続可能な社会実現への第一歩

2018.8.29市PTA研修とりまとめ ver.

- 1 貧困をなくそう**
 - ご飯が食べられない、服にいけない、服装がきちんとできていない、貧困問題が見えていない
 - Take Action!
 - 募金活動を行う!
 - 友人関係を増やす!
 - 子ども食堂を増やす!
 - ケースワーカーの充実
- 2 飢餓をなくそう**
 - 朝ご飯が食べられない、偏食が多い、食品ロス(廃棄)
 - Take Action!
 - 子ども食堂への協力!
 - 好き嫌いをなくす
 - 期限が過ぎた食品の活用!
- 3 健全な生活とウェルビーイングを促進しよう**
 - 生活習慣、規則正しい生活、運動不足、保険料等の負担、熱中症問題
 - Take Action!
 - 職場や家庭での食生活の改善!
 - 学校など公共施設の空調整備!
 - 社会保障の充実のためしっかり納税!
- 4 質の高い教育をみんなに**
 - 不登校児童生徒の問題、家庭学習の不足、読書活動の不足、個別の対応が困難(特に学校)
 - Take Action!
 - 放課後学習の機会充実!
 - コミュニティ・スクールの活用!
 - 保護者同士の交流!
 - 学校とPTAの連携強化!
- 5 働きがい、経済成長、社会参加を促進しよう**
 - 家育見分の分担、父親部、母親部、大学の入試問題(得意操作)
 - Take Action!
 - 理解を深め、思い込みを開放!
 - 役割を限定しない!
 - 朝服についてあらかじめ考えてみる!
- 6 安全な水とトイレを世界中に**
 - 水の大切さ、トイレの使い方の理解、和式トイレが使えない子ども
 - Take Action!
 - プール貯水の活用方法拡大!
 - こまめな節水!
 - トイレの使い方と防災の意識付け!
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**
 - エアコンのフル稼働(暑さ)、公共交通機関が不便、近距離でも車を愛用
 - Take Action!
 - エアコンと扇風機の併用!
 - ひとつの部屋で過ごす!(家族団らん)
 - 自転車利用の拡大!
 - グリーンカーテンの活用!
- 8 働きがい、経済成長、社会参加を促進しよう**
 - 障がい者の雇用問題、雇用の交流時間の減少、ファストファッションの流行、真面目に働かない子ども
 - Take Action!
 - 障がい者への理解を深める!
 - 親子体験活動への参加!
 - 手慣れた習慣づけ!
 - 休みやすい職場の雰囲気づくり!
- 9 産業と雇用創出を促進しよう**
 - 学校やPTA行事への参加者増、自治会への加入率低下、役割分担、地域との協力関係の構築
 - Take Action!
 - 地道に呼びかける!
 - 役割を分散化する!
 - やってみたら楽しいことを周知する!
 - 一緒に活動する機会を増やす!
- 10 人や国を問わずに豊かになる**
 - 思いやらない危険箇所、公共施設(学校)の老朽化、自治会の縮小・高齢化、小さな町では若者が減少
 - Take Action!
 - 危険箇所は関係者に報告・共有!
 - 近所での交流を促進!
 - あいごつ・声かけの励行!
- 11 住み続けられるまちづくりを**
 - 便利な機器を使えない人が、地元産業や歴史を知らない、生活水準を維持できるのか、通信費の高騰(ネット・スマホ)
 - Take Action!
 - 学校でふるさとのことを学ぶ!
 - 地域の行事や体験活動に参加!
 - フリーWi-Fiの普及!
- 12 持続可能な消費と生産**
 - 買ったままのものがゴミに、(将来のため)観点欠如、物の分別と整理ができない、困り感がない
 - Take Action!
 - 正しい分別、そのための家庭教育!
 - リサイクル可能な商品をつかう!
 - すぐに買わず、じっくり考えてから!
- 13 気候変動に具体的な対策を**
 - 外資による雇用の減少、ごみのポイ捨て、緑の減少、子どもたちが生き物を知らない
 - Take Action!
 - 緑の羽根募金!
 - 間伐材の伐採支援、有効活用!
 - 生き物を責任をもって飼う!
 - 除草作業、積極!
- 14 海の豊かさを守ろう**
 - グリノ着雨や経費の問題、車の排気ガス(車社会)、エアコンの使い過ぎ、災害に対する準備不足
 - Take Action!
 - エアコンと扇風機の併用!
 - 自転車利用の拡大!(ヘルメット配布)
 - 防災教育の推進!
- 15 陸の豊かさも守ろう**
 - 環境に配慮した洗剤を使う!、ゴミの持ち帰りの徹底!
 - Take Action!
 - ゲーム要素を合わせたクリーン活動!
 - プラスチックをなるべく使わない!
- 16 平和と公正な社会を築こう**
 - いじめ・自殺の問題、言葉の暴力、感情的で話し合いができない、戦争・紛争・テロなどの問題
 - Take Action!
 - する側される側の話を聞く環境!
 - 学校に地域の人を入れる!
 - 声をかける、話を聞く!
 - 歴史を学ぶ(過去の悲惨さを伝える)!
- 17 パートナーシップを強化しよう**
 - 不平等に気がついていない、情報を誰もみにしてしまう、大切な情報が伝わってこない、いじめ・不登校問題
 - Take Action!
 - 相手(子ども)の立場で考える!
 - 個性や価値観の違いを理解する!
 - 大人が子どもたちの声を頼れる選択肢を増やす(本人が選べる)